（別紙4（2））

事業所名　　グループホーム和

目標達成計画

作成日：　平成　28　年　12　月　8　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束の事例はないなど身体拘束をしないケアの実践に努めているが、職員の意識の維持・向上のために計画通りの外部研修の実施に努める事をきたいする。	職員の意識の維持・向上のために計画通りの外部研修の実施に努める。	計画通りに、研修の機会を設ける	12ヶ月
2	33 (12)	出来る限り、希望に沿い重度化や終末期にのケアを行ってきているが、すべてに対応出来ている訳では無い。スタッフ研修も中々実施できない。	家族の協力、医療機関との連携、職員の研修など終末期の対応を整え、利用者も家族も安心して最後まで託せる事業所になるよう努める。	研修計画を立てる。又は実際に重度化や終末期の利用者の経過と共にユニット会議や担当者会議を開き、会議内でも事例検討会などを研修として設ける	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。